

2025－2026年度
釧路ロータリークラブ各委員会活動計画書

クラブ運営委員会

委員長 佐藤 貴之

副委員長 天方 智 順

荒井会長の基本方針である「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」を具体化するために、当委員会では、会員相互の親睦と交流を重視した活動を積極的に推進してまいります。ロータリークラブが持つ理念の根幹には、仲間とのつながりを深め、共に成長し、社会に貢献していくことがあります。そのために、まずは例会への参加が重要であり、これを通じて会員同士の結びつきをより強固なものとし、クラブの活性化につなげていきたいと考えています。

例会が魅力的であり、会員の皆様が「また来たい」と思える場となることこそが、私たちの目指すところです。その実現に向けて、出席委員会、親睦活動委員会、プログラム委員会の3つの委員会が密接に連携し、それぞれの役割を活かした取り組みを進めてまいります。出席委員会は、より多くの会員が積極的に例会に参加できるよう工夫を凝らし、親睦活動委員会は交流を促進するための例会企画や野遊会を立案し、プログラム委員会は例会の内容を充実させ、学びや楽しさを提供する場を作り上げます。これらの委員会の協力により、参加すること自体が楽しみになるような環境を整え、会員の皆様が誇りを持って活動できるよう努めてまいります。

クラブの活性化には、会員の皆様一人ひとりのご理解とご協力が不可欠です。皆様が積極的に例会へ足を運び、親睦と交流を深めることで、クラブの結束力が高まり、さらなる発展へとつながります。そのためにも、ぜひ例会へご参加いただき、共に充実した時間を過ごしていただければと思います。皆様の温かいご支援と積極的なご参加を心よりお願い申し上げます。

【出席委員会】

委員長 水 口 喜 文

副委員長 五十嵐 正 弘

委 員 浅 川 正 紳 田 中 正 己

吹 谷 浩 康

本年度 荒井会長のスローガンである「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」を念頭にその行動の始まりは例会への出席が原点と考えます。例会への出席やその他諸活動への参加はロータリアンとして誇りや、会員相互の親睦を深め笑顔を得られる絶好の機会であります。出席委員会は、会員の皆さまが、あらゆるロータリーの会合や諸活動に出席することを奨励し、以下の項目について積極的に取り組み、出席率の向上目指し活動して参ります。

1. クラブ運営委員会の各委員会と連携・協力して出席率の向上を図ります。
2. 定期的に出席率を報告し参加意識の向上を図ります。
3. メークアップの活用をPRして、理解していただくことにより出席率の向上を図ります。
4. 会員の出席率向上を目指し、参加が少ない会員を温かく迎え入れ再度来ていただける環境をつくれます。
5. 出席率100%の会員を出席優秀者として記念品を贈呈いたします。

【親睦活動委員会】

委員長	中島徳政				
副委員長	藤原工	村上祐二			
委員	工藤彦夫	桑 薫	洋平		
	桑原岳広	小林祐介			
	篠原信雄	鈴木正信			
	染宮克美	田向隆之			
	戸川達雄	原智則			
	三宅康夫	伊貝正輝			

親睦活動委員会では、R I デ・カマルゴ会長メッセージである「よいことのために手を取り合おう」を念頭に置き、荒井会長と共に、創立90周年を1年後に迎える、我が釧路ロータリークラブに立ち返り、活動の基礎として「笑顔」と「誇り」そして「挑戦」の会長の思い描く姿を探求することで、クラブの活力を生み出し続けるという自覚のもと活動して参ります。釧路ロータリークラブの魅力である、居心地のいいロータリーライフを送れるよう、笑顔あふれる例会やイベントを提案し、ロータリアン相互の友情と繋がりを育み、さらに共有できますよう、各事業の企画・運営に取り組んで参ります。

そのためには、会員皆様のご協力がなくては成り立たない委員会でございます。何卒、前向きに！精力的に！ご参加いただけますよう切にお願い申し上げます。

事業実施計画

1. クラブ来訪者への取り組み

S A A と協力し歓迎の意をもって来訪者を迎え、道外からの来訪者にはバナーを贈呈します。

2. 例会会場の運営協力

クラブ理事と協力し、ハラスメントのない、前向きになれる例会の運営に協力します。

3. 記念品の贈呈

誕生日のお祝いに記念品を贈呈します。

4. 年間行事予定

1) 納涼ビアパーティー

2) 野遊会

3) 新入会員歓迎会

4) 年末クリスマス家族会

5) 新年交礼会

6) キャンドルパーティー

7) その他、親睦・懇親に関する行事

5. ニコニコ献金について

定められた目標額達成に努めて参ります。

【プログラム委員会】

委員長	藤井敬亮	
副委員長	小船井修一	濱口憲太
委員	柿田英樹	栗林延次
	中村司	古屋大輔
	梁瀬之弘	

今年度のプログラム委員会では、荒井会長の基本方針である「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」に基づき、会員の皆さまの人生の幅を広げ参考となるプログラム編成を心がけてまいります。

「笑顔」により会員同士の絆が強くなり、「誇り」を持つことで各会員の自覚が促される。そうすることで各会員の人生においての新しい活動と変革への意欲となり、いつしか「挑戦」へとつながることになる。こういった意味では、まさに今方針は参加された会員の奉仕の精神を行動に移し地域を変えるものであると思います。担当例会の時だけではなく全ての活動において今方針の「笑顔」「誇り」「挑戦」について話し合えるきっかけとなるプログラムが組めるよう努めます。

★ 2025－2026年度 例会予定 ★

月 日	月間テーマ	内 容	担 当
7月 3日 10日 17日 24日 31日	母子の健康月間	ガバナー補佐及び各クラブ会長・幹事 表敬訪問 三役・四大委員長挨拶 会員卓話 会員卓話 納涼ビアパーティー（夜間例会）	理事会 理事会 プログラム委員会 プログラム委員会 親睦活動委員会
8月 7日 14日 21日 28日	会員増強・新クラブ 結成推進月間	休会〔お盆〕 中学親善硬式野球大会報告例会	プログラム委員会 青少年奉仕委員会 プログラム委員会
9月 4日 11日 18日 25日	基本的教育と識字 率向上月間／ロー タリーの友月間	情報集会報告会① 新入会員歓迎会①（夜間例会）	プログラム委員会 プログラム委員会 クラブ研修委員会 クラブ研修委員会・親睦活動委員会
10月 2日 9日 16日 23日 30日	経済と地域社会の 発展月間／米山月間	職場訪問例会① ガバナー公式訪問例会 米山月間にちなんで 地区補助金事業報告 地区大会に参加して	職業奉仕委員会 理事会 米山記念奨学金委員会 社会法事委員会 理事会
11月 6日 13日 20日 27日	ロータリー財団月間	ロータリー財団月間にちなんで 創立90周年にむけてキックオフ（夜間例会）	ロータリー財団寄付推進委員会 プログラム委員会 90周年実行委員会・親睦活動委員会 プログラム委員会
12月 4日 11日 18日 25日	疾病予防と治療月間	年次総会 年末クリスマス家族会（夜間例会） ロータリーカップアイスホッケー大会報告会 休会〔年末休業〕	理事会 親睦活動委員会 青少年奉仕委員会
1月 1日 8日 15日 22日 29日	職業奉仕月間	休会〔元旦〕 新年交礼会（夜間例会） 上期を振り返り下期に向けて（三役・四大委員長） 台北中央ロータリー周年に参加して	親睦活動委員会 理事会 国際奉仕委員会
2月 5日 12日 19日 26日	平和と紛争予防/ 紛争解決月間	節分にちなんで（夜間例会） 釧路市長講話 職場訪問例会②	親睦活動委員会 プログラム委員会 プログラム委員会 職業奉仕委員会
3月 5日 12日 19日 26日	水と衛生月間	嵯峨記念奨学生卒業報告会 インターアクト・ロータクト活動報告	嵯峨記念育英会委員会 青少年奉仕委員会 プログラム委員会
4月 2日 9日 16日 23日 30日	母子の健康月間	情報集会報告会② IMに参加して クラブリーダーシップラーニングセミナーに参加して （夜間例会） 休会〔ゴールデンウィーク〕	クラブ研修委員会 理事会 理事会 親睦活動委員会
5月 7日 14日 21日 28日	青少年奉仕月間	新入会員歓迎会②（夜間例会） ライラセミナー報告会 嵯峨記念奨学生新人生報告	プログラム委員会 クラブ研修委員会・親睦活動委員会 青少年奉仕委員会 嵯峨記念育英会委員会
6月 4日 11日 18日 25日	ロータリー親睦活 動月間	クラブアッセンブリー（夜） 1年を振り返って（三役・四大委員長） キャンドルパーティー（夜間例会）	理事会 プログラム委員会 理事会 親睦活動委員会

クラブ広報・会員組織委員会

委員長 石 井 孝 行

副委員長 土 橋 賢 一

クラブ広報・会員組織委員会では、R I 会長のメッセージと第 2500 地区スローガンをよく理解し、荒井会長のスローガン『笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー』の実現に向けて、各委員が一致団結して取り組めるよう、活動して参ります。

これらのメッセージやスローガンに共通する必要性が『会員増強』になります。

当委員会でもこのキーワードを常に意識し、「クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会」「会員増強・選考・職業分類委員会」「クラブ研修委員会」の委員会活動を支援し、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブの活動がこれまで以上の広まりとなるよう、努力して参ります。

会員皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

【クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会】

委員長 八幡好洋

副委員長 沢田和泰 関向一

委員 川島勝典 佐々木裕章

高橋徹次 吉井透

2025－2026年度のRI会長は「よいことのために、手を取り合おう」というメッセージを発信されました。また第2500地区佐渡正幸ガバナーは「Rotaryのことを熱く語ろう！～ Rotarian Benefits を紡ぎ、そして育むために～」をスローガンとして掲げました。そして、釧路ロータリークラブの荒井剛会長のテーマ「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」の実現に向けて、クラブの活動をより多くの方々に知っていただくことを目的として活動いたします。

本年度、創立89周年となる歴史と伝統ある釧路ロータリークラブのさまざまな活動について、以下の実施要項に掲げる活動を通して、タイムリーに情報を発信し、会員相互の理解を深めるとともに、より多くの地域みなさまに当クラブの活動をご理解いただき、新入会員の獲得にもつなげていきたいと考えております。

みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《実施要項》

1. ホームページでの例会報告
2. ホームページでの例会や委員会活動の紹介
3. ホームページの管理・更新・運営
4. 新たな情報発信についての調査、研究、実施
5. 「ロータリーの友」購読への一層の推進

【会員増強・選考・職業分類委員会】

委員長 小野寺 俊

副委員長 市 橋 多佳丞

委 員 川 本 和 之 佐 藤 伸 昭

瀧 波 大 亮 西 池 淳

久 島 貞 一

当委員会では、今年度クラブスローガンである『笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー』を実践するため会員増強・維持に努めて参ります。

また、次年度クラブ創立90周年を迎えるにあたり、周年事業に向けて本格的に準備を進める一年でもあることから、その活動を支える体制を構築するためにも、会員増強が一層重要になってくると思われます。

クラブがこれまで以上に『笑顔』溢れるクラブであり続けるよう、『誇り』をもって委員会メンバー一丸となって新規会員獲得へ『挑戦』して参ります。

目標としては、通年での会員数100名以上を維持、そして90周年に向けた更なる会員増強のみならず退会防止に努め、純増10%（10名）の会員増を目指します。

今までにない高い目標ではありますが、広く入会希望者の情報を集めていきたいと思いますので、会員の皆様からのご支援・ご協力のほど、宜しくお願い致します。

【クラブ研修委員会】

委員長	滝越康雄
副委員長	後藤公貴
委員	高橋直人

本委員会の役割は、当クラブ会員にロータリーへの理解を深めて貰うことを目的とした、委員会でございます。

会員のロータリーについての情報を適時に伝え、特に新入会員にはロータリーを正しく、又理事会やクラブ内各委員会と連携・協力し、ロータリーに関する情報や知識を提供し、ロータリアンとしての意識の高揚に努めます。

委員会活動目標

- (1) 新入会員に入会時オリエンテーションを実施する
- (2) 新入会員歓迎会を企画・実施する（上期：下期各1回）
- (3) 情報集会を実施する（上期：下期各1回）
（自由闊達な意見交換により、会員相互の理解とロータリーへの理解を深める）
- (4) 活動方針である会員増強のため、クラブ研修セミナーの実施

奉仕プロジェクト委員会

委員長 松 井 聖 治

副委員長 曾我部 元 親

今年度奉仕プロジェクト委員会は、地区スローガン「Rotaryのことを熱く語ろう！」また
釧路ロータリークラブスローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」という両スロー
ガンを念頭に、このスローガンをしっかりと受け止め、実践すべく、社会奉仕、職業奉仕、国
際奉仕、青少年奉仕の各委員会を主導し、サポートしていけるよう積極的に行動し挑戦してい
きます。

そして歴史と伝統ある我が釧路ロータリークラブを更に発展させるため、伝統を守りつつも
時代の変化に柔軟に対応した、持続可能な活動が出来るよう事業を計画し実行してまいります。

各委員会のみならず、会員の皆さまからもお知恵と御協力を戴きながら1年間邁進してい
きますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

【社会奉仕委員会】

委員長 得 地 哉

副委員長 木 下 正 明

委 員 齋 藤 史 行 須 藤 隆 昭

吉 田 潤 司

今年度当委員会では、地区スローガンである「Rotaryのことを熱く語ろう！」と釧路ロータリークラブスローガンである「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」を受け、地域の人々が自分の住む地域に誇りを持てる社会を実現するためのお手伝いができるよう活動をしてまいります。そのために、特に身近な地域を知るための働きかけを中心として活動してまいります。

地域への貢献は、会員皆様のご協力がなくては実現できません。会員皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

【職業奉仕委員会】

委員長	残間	巖	
副委員長	前田	秀幸	
委員	伊原	明	及川雅順
	尾越	弘典	白崎義章
	羽田	尚弘	

今年度、職業奉仕委員会では、RI会長メッセージ「よいことのために手を取り合おう」を踏まえて、荒井会長のスローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」をもとに委員会活動に取り組んでまいります。

ロータリーの中核的理念の一つである「職業奉仕」、これを深く理解し、会員各自が職業人としての倫理と社会的責任を果たすことを通じて、地域社会に信頼され、貢献できるよう活動してまいります。一年間、どうぞよろしくお願い致します。

【国際奉仕委員会】

委員長 東 堂 光 春

副委員長 邵 龍 珍

委 員 浅 野 清 貴 甲 賀 伸 彦

西 村 智 久 吉 田 英 一

国際奉仕委員会では、2025-26年度荒井会長の「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」
とのスローガンのもと、姉妹クラブである台北中央ロータリークラブとの周年事業への積極的
な参加と交流を通じ親交をより深め、台湾の人々と国際的な問題に対する認識を培うことで、
日台親善のより一層強固なものとし、平和を推進する活動に取り組みます。

また、世界大会も台湾で開催されるということで、世界のロータリアンとの交流も深められ
るよう、積極的な参加の推進をしてまいります。

1. 姉妹クラブの台北中央ロータリークラブ創立40周年記念事業への参加の推進
2. ロータリー世界大会への積極的な参加の推進
3. タイの各クラブとの補助事業推進

【青少年奉仕委員会】

委員長	岩田信一		
副委員長	林英樹		
委員	伊藤邦彦	大道光肇	
	栗林定正	黒田恒史	
	田中弘明	谷川富成	

本年度、青少年奉仕委員会は、地区スローガン「Rotaryのことを熱く語ろう！」のもと釧路ロータリークラブスローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」をしっかりと受け止め、継続されてきた活動はもとより、会員の方々のご理解・ご協力を頂きながら、青少年が明るい未来に希望を持つことが出来るよう委員会一丸となって奉仕活動して参ります。

何卒宜しくお願い致します。

（活動内容）

1. 全道中学親善硬式野球大会の開催に協力
2. RYLAセミナーへの参加・派遣
3. 東北海道高校アイスホッケー大会兼釧路ロータリーカップの開催
4. ローターアクトクラブ・インターアクトクラブとの交流事業

ロータリー財団・奨学推進委員会

委員長 舟 木 博

副委員長 清 水 輝 彦

当委員会は、「ロータリー財団寄付推進委員会」「米山記念奨学会委員会」「嵯峨記念育英会委員会」の三委員会で構成されております。ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。この使命を達成すべく、私たちは、地域社会で持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動することを目指します。

10月の米山月間、11月のロータリー財団月間を通じて、ロータリーにおけるロータリー財団及び奨学会の意義やあり方を理解していただけるよう、活動してまいります。また、嵯峨記念育英会委員会では、公益財団法人釧路ロータリー嵯峨記念育英会と連携を図り、安定的かつ持続的な奉仕活動を推進できるよう資金の確保に努めます。

それぞれの委員会の与えられた目的を意識しながら、活動し、荒井会長のスローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」を達成すべく挑戦してまいります。

会員皆様のご理解とご協力をどうかよろしくお願いいたします。

【ロータリー財団寄付推進委員会】

委員長 堀 充 利

副委員長 吉 田 秀 俊

委 員 北 畑 和 博 登 坂 康 弘

増 田 牧 森 村 好 幸

今年度、ロータリー財団寄付推進委員会では、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブがこれまで以上に、生き活きと魅力のあるクラブとなるよう積極的に活動して参ります。会長方針である「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」を達成するためにも、また、国際交流事業を推進する上でも、ロータリー財団の内容やその用途等の情報を発信し、ロータリー財団の重要性とその使命をメンバー全員が知っていただけるよう、以下の項目について積極的に活動して参ります。

1. ロータリー財団への理解と寄付の推進
2. ロータリー財団認証ポイントの理解と利用促進
3. ポールハリスフェロー認証受領者の増強

【米山記念奨学会委員会】

委員長 米 本 富 夫

副委員長 羽田野 貴 志

委 員 青 田 敏 治 齋 藤 浩 記

佐 藤 茂 良 下川部 知 洋

米山記念奨学会は、全国各地域のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、日本に留学し、日本の大学等で勉学、研究を志している外国人留学生に対し、奨学金を支給し、支援する民間の奨学団体です。

将来、母国と日本との交流の懸け橋となり、色々な地域で活躍する優秀な留学生を育てることを目的としています。外国人留学生はロータリークラブを通して社会参加と社会貢献の意識を育て、国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されております。

当財団の目的・活動内容等について推進月間をとおして、ご理解を深めていただけるよう活動してまいります。

1. 米山チャリティーコンペをなゆたの会との協力を通して、共同開催し、米山記念奨学会への寄付の理解を図ります。
2. 米山功労者の増加を目的に、特別寄付金への協力をお願いする。
3. 米山カウンセラーと協力して、奨学生の活動を支援します。

【嵯峨記念育英会委員会】

委員長 脇 弘 幸

副委員長 白 幡 博

委 員 石 田 博 司 菅 原 顯 史

濱 谷 美津男 山 原 活 志

本年度、嵯峨記念育英会委員会では、「青少年にささやかであるが心を込めた贈り物をぜひ贈りたい」という思いから1961年に設立された「財団法人嵯峨青少年育英会」が、1975年に釧路ロータリークラブへ移管され、2011年に公益財団法人に移行した「釧路ロータリー嵯峨記念育英会」の持続的な活動を支援するため、ロータリアンとして、手を取り合い、笑顔と誇りを胸に活動を推進して参ります。

1. 今年度、新たに奨学生となった高校1年生を例会に招待し、祝福および激励する。
2. 卒業を迎える奨学生を例会に招待し、卒業後の進路や将来への夢を語っていただき、記念品を贈呈するとともに祝福および激励する。
3. 公益財団法人釧路ロータリー嵯峨記念育英会の持続的な活動のための資金確保を図るべく、会員各位への理解と協力をお願いする。



S.A.A. 杉 村 莊 平

副S.A.A. 市 橋 多佳丞

本年度会長方針のもと、歴史ある釧路ロータリークラブの品位と秩序が保てるよう努力するとともに、会長・幹事・各委員長等と連携・協力し、例会等のスムーズな進行に努めてまいります。

1. 例会が時間厳守のもと開会し、円滑な運営が行えるような環境づくりに努めます。
2. ご来賓や来訪ロータリアンを温かくお迎えし、気持ちよくお帰り頂けるよう努めます。
3. 新入会員がより多くの会員と早く打ち解け、気軽に出席できるような雰囲気づくりに努めます。